

Before/After

リニューアルオープン記念特別展

2023年
3月18日(土) — 6月18日(日)

休館日：月曜日

開館時間：10:00-17:00 (入場は閉館の30分前まで)

広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1

TEL 082-264-1121 FAX 082-264-1198

<https://www.hiroshima-moca.jp/>



Hiroshima
MOCA

リニューアルオープン記念特別展

Before/After

2023年 3月18日(土) - 6月18日(日)

休館日：月曜日 開館時間：10:00-17:00(入場は閉館の30分前まで)

観覧料：

一般 1,600円 (1,250円)

大学生 1,200円 (900円)

高校生・65歳以上 800円 (600円)

*中学生以下無料、()内は前売りおよび30名以上の団体料金

主催：広島市現代美術館

協力：KENJI TAKI GALLERY、LEESAYA、SCAI THE BATHHOUSE、

S.O.C. Satoko Oe Contemporary、The Third Gallery Aya

協賛：丸子硝子株式会社

後援：広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、

朝日新聞広島総局、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、

NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、

広島ホームテレビ、広島エフエム放送、尾道エフエム放送

広島市現代美術館は、約2年3ヶ月の大規模改修工事を

を経て、2023年3月に迎えるリニューアルオープンに際し、

記念特別展「Before / After」を開催いたします。全館を会場

とする本展は、これまでを大切にしつつも、様変わりをも

果たした美術館の全貌を披露する機会でもあります。改

修工事後の建物には、いくつもの変わった箇所がありま

すが、本展ではこのようになにかがきっかけとなって生じ

る、さまざまな「まえ」と「あと」の現象や状況に着目します。

例えば、経年による物質の変化や劣化は、通常は否定的

に捉えられがちですが、あえて肯定的に向き合ってみる

とどうなるでしょうか。また、核兵器として利用された原子

力が、その後、エネルギー源として世界に繁栄をもたらす

と信じられたように、歴史を振り返れば、いくつもの分岐

点としての出来事や決断があり、変更や変化が起こって

きたことに気づくでしょう。本展は、アーティストによる鋭

敏な眼差し、そして歴史的視座を通して、事物の前と後、

あるいはそのあいだ、その重なり合いに迫ります。こうした

探求にふさわしいアーティストたちを導き手とし、彼・彼

女らの手による当館コレクション作品、さらには今回のた

めに制作された新作を交えて紹介します。その体験の前

と後では、ほんの少し、あなたのなにかが変わっている。

そんな新たな広島市現代美術館にご期待ください。



コウミュキ《Stand Up!》Series
「駆け出した犬、浮遊する象」2019
瀬戸内国際芸術祭 2019/
小豆島・三都半島での展示風景



平田尚也《Repetition game》2017



横山奈美《LOVE》2022
Photo: Hayato Wakabayashi



和田礼治郎《禁断の果実》(部分) 2016
パリ・レコレ国際センターでの展示風景
Photo: Martin Argyroglo



毒山凡太郎《Long Way Home》2022
© Bontaro DOKUYAMA



竹村京
左：《修復されたG.美術館の電球》2019
右：《修復されたT.家の電球》2019
Photo: Shinya Kigure

出品アーティスト：

鬚嘔、石内都、伊藤公象、井上覚造、大岩オスカル、岡本太郎、デニス・オッペンハイム、オノ・ヨーコ、河原温、コウミュキ、嶋剛、四國五郎、下道基行、新生タイポ・プロジェクト(岡澤慶秀、岡本健+)、菅井汲、SUPERFLEX、ナンシー・スペロ、笹岡啓子、高橋銃、高山良策、竹村京、田中功起、田村友一郎、蔡國強、土田ヒロミ、毒山凡太郎、殿敷侃、2m26、シリン・ネシャット、ダラ・バーンバウム、浜田知明、ジョン・バルデッサリ、平田尚也、吹田文明、キース・ヘリング、細江英公、松澤宥、南薫造、宮川啓五、ヘンリー・ムーア、森村泰昌、ヤノベケンジ、横山奈美、若林奮、和田礼治郎

VRを利用した平田尚也作品の鑑賞について

平田作品の一部は、VRゴーグルを装着して鑑賞していただけます。ご希望の方は、以下フォームより事前予約の上、ご来場ください。なお、空きがある場合に限り、当日会場でも申込み可能です。



関連プログラム：

■オープン記念アーティストトーク

出品アーティストによるリレー形式でのトーク。

参加予定アーティスト：コウミュキ、高橋銃、竹村京、田村友一郎、毒山凡太郎、平田尚也、和田礼治郎

日時：2023年3月18日(土) 14:00-16:00

場所：展示会場(A展示室前にお集まりください)

要展覧会チケット、申込不要

■学芸員によるギャラリートーク

①展覧会編

日時：2023年3月25日(土) 14:00-15:00

要展覧会チケット、申込不要

②建築フォーカス編

日時：2023年3月26日(日) 14:00-15:00

要展覧会チケット、申込不要

■アートナビ・ツアー

アートナビゲーターによる展示解説

日時：毎週土曜日・日曜日・祝日、各日11:00-11:30|A展示室、11:45-12:15|B展示室、14:00-14:30|A展示室、14:45-15:15|B展示室(学芸員によるギャラリートーク開催日は除く)

要展覧会チケット、申込不要

■モカモカ・ワークショップ

休館中に館外で活躍していた2m26制作の「ツールボックス」がモカモカに登場!用意してある材料を使って、お絵描きや工作が自由に楽しめます。

日時：2023年3月18日(土)・毎週日曜日、10:00-16:30

場所：モカモカ(新設の多目的スペース) 無料 申込不要

*4月以降に開催するプログラムについては、随時当館ウェブサイトにて発表します。

*状況に応じて、各種プログラムの参加人数を制限する場合があります。

●同時期開催イベント

トヨダヒトシ+市立宇品中学校美術部「映像日記/スライドショー」

日時：2023年3月25日(土)、26日(日) 10:30-12:00

会場：地下1階ミュージアムスタジオ

定員：70名 観覧無料 申込不要

次回開催 第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展

2023年7月22日(土)～10月15日(日)



交通案内

■広島駅から

路面電車 5番「広島港」行き→「比治山下」下車、約500m

バス 10番のりば、大学病院・旭町・県病院方面
→「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約700m
タクシー 約10分

■紙屋町または八丁堀から

バス 紙屋町(県庁前)バス停または八丁堀(ヤマダ電機前)バス停、
広島バス(23-1番系統)「大学病院」行き(比治山トンネル経由)
→「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約550m

■市内各所から

市内循環バス「ひろしまめいぶる〜ぶ」「オレンジルート」
→「現代美術館前」下車、約100m

■駐車場

美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。

①比治山公園内(約120台分無料、利用時間9:00-19:00)

②広島段原ショッピングセンター駐車場(1Fサービスカウンターへ当館の入館証明提示で当日に限り3時間無料)